

平成30年度 北海道へき地・複式教育研究連盟活動報告

指名理事 温泉（道へき・複連総務）

1 目的・事業

【目的】 各地区のへき地・複式教育研究団体の活動を促進し、各関係機関団体と連携を密にして北海道へき地・複式教育研究の復興に寄与する。

- 【事業】
- 1 へき地・複式教育研究大会、講習会に関する事
 - 2 へき地・複式教育の振興に必要な資料の調査や収集配布に関する事
 - 3 へき地・複式教育に必要な研修資料の刊行及び情報機関誌の発行に関する事
 - 4 各種関係機関及び団体との連絡提携に関する事
 - 5 へき地・複式教育振興に関する事
 - 6 その他、本連盟の目的達成に必要な事

2 活動の具体的内容

(1) 「へき地性」「小規模性」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図る研究活動

- ① 第9次長期5か年研究推進計画5年目として評価・発展に取り組む
- ② 課題別・共同研究の深化と拡充に努める
- ③ 第67回全道へき地複式教育研究大会後志大会の成功に向けて取り組む
- ④ 第68回全道へき地複式教育研究大会空知ブレ大会の取組を推進する
- ⑤ 全道、各地区の研究成果の還流に努める

(2) 組織の強化と充実

- ① 各地区へき・複連との連携、組織の強化に努める
- ② 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活性化を図るとともに、組織体制の改善について検討する
- ③ 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図り、その強化に努める。
- ④ 未加盟校及び非複式のへき地小規模子連加盟促進を図る。
- ⑤ 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。
- ⑥ 適切な予算執行に努める。
- ⑦ 本連盟創立70周年記念事業（70周年記念誌発行）に取り組む。

(3) 教育条件整備と拡充

- ① へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。
- ② 教職員の待遇改善を図る運動を進める。
- ③ 新へき地学校等級別指定にかかる調査・要望活動を進める。
- ④ へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の課題等の実態把握に努め、その対策について検討を図る。

(4) 関係機関・関係団体との連携を一層強化

- ① 道教育委員会・道立教育研究所、道小、道中、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター、道教育大学各校、全へき連、道へき・複連OB会、道P連等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。
- ② 「全国へき地教育新聞」への寄稿、購読の拡大に強力する。
- ③ 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。

3 活動概要

(1) 定期総会・役員研修会 5月11日（金）

研修内容～「第10次長期5か年研究推進計画 平成31年度～（5か年）」

(2) 第67回全道へき地複式教育研究大会 後志大会 9月20日（木）～21日（金）

【研究主題】

主体的・創造的に学び、豊かな心たくましくふるさとを切り開く子供の育成

～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に

未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

【分科会会場校】

5町3村 8会場にて実施

(3) 第68回全道へき地複式教育研究大会空知プレ大会 9月28日(金)

【研究主題】

主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成
～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに
「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

【分科会会場校】

3市2町 7会場で実施

(4) 全へき連関係

①全へき連研究図書編纂

- ・平成30年度実践事例集 渡島地区と檜山地区の実践掲載
- ・平成31年度実践事例集 釧路地区とオホーツク地区の実践掲載

②第67回全国へき地教育研旧大会京都大会 10月11日(木)～12日(金)

- ・提言発表 宗谷地区

③全へき連研究推進会議

(5) 調査報告

①全へき連関係

- ・全へき連調査、リンク集の調査、報告

②道へき・複連関係

- ・組織検討委員会 → 各地区連の現状や課題 → 要望要請活動や文教施策等に反映
組織運営の検討 等

(6) 関係署機関との連携

①道教大との連携

- ・へき地小規模校研究センターとの連携 釧路校・旭川校・札幌校 アドバイザー
- ・フォーラム開催(釧路校) → 文科省課長講演等 道内外15大学も参加
- ・HATOプロジェクト(北海道教育大、愛知教育大、東京学芸大、大阪教育大)

②道研との連携

③OB会との連携

(7) 実践研究

- ・実践収録作成
- ・全道大会、プレ大会への助言者派遣

(8) 情報関係

- ・全国へき地教育新聞(原稿依頼等)
- ・情報誌の発行(年3回)

(9) 道へき・複連結成70年記念誌作成

4 成果と課題

【成果】

- 第9次長期5か年研究推進計画の最終年度において、後志大会及び空知プレ大会において実践的研究成果を全道に発信できたこと。
- 後志大会分散会では、学校・学級経営、学習指導において3つの実践発表と熱心な討議がなされ、全道各地のへき地・複式教育の交流が図られ、充実した大会となった。
- 道小等と連携しながら文教施策懇談会等においてへき地・複式教育の現状や課題等を道教委にあげ、改善へとつながる道筋ができてきた。
- 同時間接指導の実践と検証等の取組
- 海外からの視察と継続

【課題】

- 各管内において統廃合により、加盟校が減少するとともに教職員の減少により、活動の推進が難しい地域がでてきている。
- 異動等により複式経験者が少なくなるとともに、これまで培ってきた複式の指導技術等がなかなか引き継がれないこと。また、複式を含めて経験の浅い教員の資質向上をどのように進めて行くか。
- 旅費等にかかわる費用
- 中学校での免許外教科の指導
- 次期へき地級見直しについての対応準備